

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	26 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	新館2階3階
担 当 教 員	松岡 清子	実務経験とその関連資格	病院で看護師として勤務 教育機関で勤務			
《科目目標》						
<p>1. 精神看護におけるケアの基本であるコミュニケーション技術を模擬実践およびプロセスレコードを通して習得する</p> <p>2. 精神の健康障害をもつ対象の回復を促す援助について、問題解決技法を用いて看護過程を展開することができる</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>【評価方法】90点/100点 グループワークと演習参加度、プロセスレコードおよび看護過程の展開の提出状況で評価</p> <p>【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
メディカ出版 ナーシンググラフィカ精神看護学②精神障害と看護の実際						
《授業外における学習方法》						
授業以外での準備学習の具体的な内容を参照						
《履修に当たっての留意点》						
他の精神看護学の科目の学習内容を活用して看護過程を展開できる知識、技術を習得する。また、精神看護学概論で学習した人権擁護を復習し、精神障害をもつ対象への態度を習得する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	統合失調症患者(急性期～回復期)への看護過程が展開できる(事例の理解と情報整理)		統合失調症の紙上事例 アセスメントシート	基本技術Ⅲ 看護過程の情報整理について復習して授業に臨む	
	各コマにおける授業予定	・事例患者の情報整理				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	統合失調症患者(急性期～回復期)への看護過程が展開できる(事例の疾患治療の理解)		統合失調症の紙上事例 疾患治療に関するシート アセスメントシート	統合失調症の診断と特徴、症状、治療を復習して授業に臨む	
	各コマにおける授業予定	・事例患者の病態、症状、治療				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	統合失調症患者への看護過程が展開できる(アセスメント)		統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート	精神科での援助におけるアセスメントの視点を復習して授業に臨む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害と生活背景との関連(ヒストリーを読む)</li> <li>・精神障害による症状、治療が日常生活行動に及ぼす影響(精神状態とセルフケアレベル)</li> </ul>				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	統合失調症患者への看護過程が展開できる(アセスメント)		統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート	精神科での援助におけるアセスメントの視点を復習して授業に臨む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害による症状が対人関係のあり方に及ぼす影響(対人交流パターン)</li> <li>・精神障害をもつ対象の強み、もてる力</li> <li>・対象の思いや希望</li> </ul>				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	統合失調症患者への看護過程が展開できる(アセスメントと関連図)		統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート 関連図	アセスメントシートを完成させて本授業に臨む	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントの共有</li> <li>・関連図作成</li> </ul>				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者への看護過程が展開できる(関連図)	統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート アセスメントシート 関連図用紙	アセスメントシート修正して本授業に臨む
	各コマにおける授業予定	・病歴、生活歴(ヒストリー)の図式 ・精神障害と生活背景の関連 ・精神障害による症状および治療と日常生活への関連		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者への看護過程が展開できる(看護問題の抽出)	統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート アセスメントシート 関連図用紙 看護計画用紙	関連図を完成して本授業にのぞむ
	各コマにおける授業予定	・看護上の問題の明確化(ネーミング)の共有 ・看護目標		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者への看護過程が展開できる(看護計画の立案)	統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート アセスメントシート 関連図用紙 看護計画用紙	看護上の問題を抽出して授業に臨む
	各コマにおける授業予定	・看護計画(0-P、T-P、E-P)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者への看護過程が展開できる(看護の実施)	統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート アセスメントシート 関連図用紙 看護計画用紙 プロセスレコード プロセスレコード	計画に基づき、模擬実践できる準備をして本授業に臨む ★実施場面を撮影し、プロセスレコードを記載する
	各コマにおける授業予定	・日常生活への援助 ・治療に関する援助		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者への看護過程が展開できる(評価修正)	統合失調症(急性期)の紙上事例 アセスメントシート アセスメントシート 関連図用紙 看護計画用紙 プロセスレコード プロセスレコード	プロセスレコードを完成させて本授業に臨む ★看護過程の用紙、プロセスレコードの用紙を完成させて提出。ファイルに綴じて
	各コマにおける授業予定	・プロセスレコードの共有(GW) ・SASPの記載 ・看護計画の修正		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者の社会復帰にむけた支援ができる(社会資源の活用)	統合失調症の紙上事例 ワークシート	ワークシートの入院時の支援について完成させて本授業に臨む
	各コマにおける授業予定	・入院時の支援の共有 ・必要な社会資源		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者の社会復帰にむけた支援ができる(社会資源の活用)	統合失調症の紙上事例 ワークシート	ワークシートの社会資源を完成させて本授業に臨む
	各コマにおける授業予定	・必要な社会資源の共有 ・社会資源の活用頻度(週間予定表作成)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 統合失調症患者の社会復帰にむけた支援ができる(地域生活定着支援)	統合失調症の紙上事例 ワークシート ワークシート クライシスプラン 用紙	ワークシートの社会資源、習慣予定表までを完成させて本授業に臨む
	各コマにおける授業予定	・クライシスプランの作成 ・ケアマネジメント		